



〒150-0012

東京都渋谷区広尾4丁目1番1号

TEL 03-3400-0147 (代) 03-3400-1311

<http://www.med.jrc.or.jp/nyuji-in/index.html>

理念

私たちは、「人道・博愛」の赤十字精神を行動の原点として、子どもの最善の利益を守り、心身ともに健やかに成長できる保育看護を提供します。

私たちは、家族に寄り添い、地域との連携をはかり、家庭復帰を支援します。

新しい出会いに感謝して

毎朝「おはようございます！」と子どもたちのお部屋に入り、一人ひとりに笑顔で声をかけています。最初は「この人誰？」と怪訝そうな表情でしたが、最近はこの顔にも慣れてくれた様子で、手を広げてそばに来てくれる子どもたち。

私は桜の花が咲いている頃に、日赤医療センター産科（周産期センター）から異動してきました。4月の「園だより」でもちょっとご挨拶をさせていただきました。

臼井師長は「副部長」として、施設長とともに乳児院の運営に携わることとなり、私が師長を拝命しました。

乳児院の開設は昭和23年。終戦後からの歴史ある乳児院です。私が日赤医療センターに就職して30年以上になりますが、同じ敷地内にありながら私にとって乳児院はやや離れた存在でした。助産師として長い間妊娠、出産、産後、NICUに入院している赤ちゃんのケアにと関わってきましたが、ここでの3ヶ月は、私にとって今まで出会った女性、妊婦さんや子供達、家族への関わり全てにおいて「すでにわかっている」と思っていた事が、まだ「点」であったことを教えてくれました。病院で関わる「点」だった事が「線」に、そして「面」になり、さらに子どもたちの成長にしたがって「面」は広がっていくといった新しい感覚を持っています。今までにこんなに濃密に一緒に仕事をした事がなかった多くの保育士さん、家庭支援専門相談員、里親支援専門相談員、臨床心理士さんや厨房の方々との出会いがさらにその可能性を広げてくれています。私にとってかけがえのない職場をいただいたことに感謝しています。

日赤医療センター附属乳児院という背景の中、様々な背景を持つ赤ちゃんや子どもたち、そして病児や重症心身障害をもつ子どもたちだからこそ、医療と看護、そして成長・発達を促していく「優しくて温かな保育・養育」の提供がさらに求められていると感じます。

「病気の〇〇ちゃん」「障害がある〇〇ちゃん」ではなく「ちょっと個性的だけど可愛い〇〇ちゃん」「とっても活発な〇〇ちゃん」と様々な個性を持つ子どもたちを受け止め、職員とともに、これからも笑顔を絶やさず接していきたいと思います。

毎朝、職員みんなで唱和する「スローガン」があります。

「子供を褒めよう！大人も褒めよう！優しい笑顔、優しい言葉、優しい態度」今日もこのスローガンを実践できるよう頑張ります。私も、まだまだわからない事ばかりです。現在も成長途中ですが今後ともよろしく願います。

看護師長 赤山美智代



こどもの日



今年の鯉のぼりは、2 階のベランダとプレイルームに飾りました。

感染症が流行していた為、部屋から出られずに過ごす期間もありました。そんな中、ベランダで泳ぐ鯉のぼり見て、「あれは?」「こいのぼり!」等と子ども達の元気な声が聞かれ、嬉しそうな表情や関心も高く感じとることが出来ました。また、各部屋には子ども達が制作した、色とりどりの鯉のぼりが飾ってあり、「〇〇の!」と自分が作った物を得意気に教えてくれる子もいました。

行事食では、可愛らしい鯉のぼり寿司よりも肉団子が人気で、おかわりして食べる子が多く見られました。この日ばかりは苦手なものはおいておいて、好きな物を好きなだけ食べて満足感を味わっていたようです。

子ども達がすくすく元気に、幸せに過ごせることを願っています。



春の遠足

桜が散り、つつじが咲く頃になると、1 歳を迎えている子ども達は担当保育者と遠足に行きます。行先は様々ですが、普段の散歩コースを飛び出して、公共交通機関を利用し、外食など色々な社会体験をしてきます。

今回私は、担当児とベビーカーを利用し、港区立麻布子ども中高生プラザへ行きました。

施設が月齢に合った環境と言う事もあり、楽しく遊ぶ事が出来ました。広尾周辺を満喫してこれたのも、外出で少し遠出をし、新しい発見があったからです。

少しずつ広がってきた散歩コースですが、今後のさらにその範囲広がり、外出という形でなく、日常の散歩で楽しめることを期待したいです。



子どもたちの「家」乳児院で私ができること

私がこの乳児院でボランティアを始めたのは、友人にボランティア活動を誘われたのがきっかけです。元々子どもが好きだったことと、乳児院のことを調べていく中で、自分の在籍している大学の隣にある乳児院の子ども達へ、何かできることはないかと感じ、ボランティア活動に参加させていただきました。



ボランティア活動は週一回行っていて、活動を始めてから約半年が経ちました。子ども達と関わり、遊ぶときは、子ども達の元気さに負けないようにいつも全力です。体力的に疲れる時もありますが、私と遊んでいる時間は、笑顔がいっぱいで子ども達にとって楽しい時間であってほしいので、私自身も全力で楽しんで接しています。また、子どもの成長発達の早さを感じるのもボランティア活動の楽しみの一つです。先月できなかったことができるようになってのを見ると子ども達の成長を感じます。

今、乳児院にいる子どもたちにとっての家はこの施設ですが、子ども達にはこれからそれぞれの未来があります。子ども達がもっと大きくなった頃には、私のことを覚えている子どもはほとんどいないかもしれません。しかし、それでも子ども達の未来に少しでもつながるのなら、今の遊びを通してこれからも手助けをしていきたいです。



食中毒に気をつけましょう

夏は食中毒の発生しやすい季節です。以下の3点に気を付けましょう♪

1. 食中毒の菌をつけない！

魚介類、野菜等につい食っている可能性があり、流水でよく洗いましょう。

食品を保存する際は包んだり、蓋のつく容器等に入れ保存しましょう。

2. 食中毒の原因菌を増やさない！！

調理が終わった食品は早めに食べましょう。

冷凍、冷蔵庫温度管理を適切にしましょう。

食品を購入したら早めに冷蔵庫にしまいましょう。

3. 食中毒の原因菌を殺す！！！！

肉、魚等調理時充分加熱して原因菌を殺しましょう。

調理器具は洗浄したり漂白剤等を使用して殺菌しましょう。



新入職者紹介

こんにちは。5月から乳児部の看護師として働かせていただいています、清水絵里子です。3月まで横浜の病院の小児科で4年間働いていました。まだ、一ヶ月程しか経っていませんが、スタッフの皆様親切に教えていただきありがとうございます。病棟の慌ただしさとは違い、子ども達とゆっくり関わっていきける環境なので、一人一人と丁寧に関わっていきたいです。まだまだ未熟ですがこれからもよろしくお願いいたします。



こんにちは。十数年振りに、新人の頃から育てていただいた日赤で働くことになりました、関根弘子です。お世話になった先輩方とまた一緒に働くことができ、とても嬉しいです。乳児院の看護は、ご家庭での養育が難しいお子さまの育ちを支えるという、責任のある仕事です。夜勤の時間帯だけになりますが、一人ひとりのお子さまの個性や発達に合わせて、細やかにケアが行えるように頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。



はじめまして、5月1日付で助産師学校から乳児院に異動になりました、事務の山崎恵美子です。久々の小さい子ども達へのふれあいに感激している反面、初めての福祉の仕事に頭がパニックです。しばらくは、皆様にご迷惑をお掛けするかと思いますが、早く仕事がスムーズに運ぶように頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



7月7日は七夕。乳児院では看護大学の学生によるアンパンマンショーを楽しみました。

またお昼ごはんには、お星さまの入った美味しいキーマカレーを食べ楽しい1日を過ごしました。



編集後記 暑さも日々増していき、本格的な夏の季節もすぐそこまで来ているようです。子ども達の体調管理に気をつけながら、夏の行事、日々のお散歩、外遊びを楽しく過ごしていきたいと思います。